

松 風

■発行所 流通経済大学校友会 tel 0297-64-0001
 ■〒301-8555 茨城県龍ヶ崎市平畑 120
 ■発行人 佐藤 克實

平成 26 年度 第 1 回 幹事会 開催



5月10日 15時より本年度最初の幹事会が新松戸キャンパス502号教室にて開催されました

まず、議長佐藤会長が 本日は天気恵まれ幅広い世代がこうして集まった。さらなる校友会発展のために活発な意見交換の場としたいと挨拶されました。また、あらたに 校友会事務局員として4月1日着任された長友さんの紹介とご挨拶があった

出席者 佐藤会長、染谷会計監査、瀬川総務委員長、広瀬財務委員長、羽田運営委員長、榑編集委員長兼新潟支部長、尾形幹事、菊池幹事、仁平幹事、対木幹事、佐久間幹事、飯田幹事、永井幹事、白鳥幹事、寺崎社会福祉会会長、高橋岩手支部長、小原みちのく支部長、藤浴近畿支部長、亀田中国西支部長、中尾中国東支部長、平田北九州支部長、林北海道支部長、桜庭青森支部長、植木群馬支部長、我妻秋田支部長、溝上千葉支部長、青木南九州支部長、松永四国支部長、柴田福島支部長、日野北陸支部長、石川顧問、齋藤オブザーバー、

事務局 赤石総務部長、仲川会計長、大島副会計長、黒田支部推進部長、松田編集部員、齋藤事務局長

欠点もあり完全なものでは無い。

- ① 自宅のEメールの場合1カ月以上開かない方がいる。
- ② 短いサイクルでのメールアドレスの変更が相当数ある。(迷惑メール対策)
- ③ 携帯メールの場合はEメールからの通信を拒否している場合が多い。
- ④ 返信を別のアドレスから行い迷惑メールと判別された例あり。

現時点では往復はがきほどの精度が無く、事務的にも煩雑になる。大きな支部総会ではなく少人数の連絡に向いている。次の時代を考えると避けられない課題であり、今後の取り組み方を練る必要がある。

○青春祭の援助金の申請を早めをお願いしたい。昨年は秋に申請があった。

○校友会ガイドブックの発行時期について。現在作成中

第三号議案 校友会人事について。

○齋藤伸一正幹事の退任について
 3月20日付で退任届けを受け取り済。
 1名欠員となるが現在補充は考えていない。

○日野壮太北陸支部長承認

北陸支部総会で選出された日野壮太新北陸支部長から挨拶があり満場一致で承認された。6期生柔道部OB

第四号議案 北海道出先支部の取り扱いについて。

前幹事会で北海道道東出先支部(帯広、釧路)について承認を頂いたが函館地域も出先支部を開設したいとの要請がある。次のような状況もあり幹事会で検討したい。

- ① 支部を置いている都市から300km以上離れている・
 - ② 既に定期的に同窓会を開催している。
 - ③ 会の中核となる校友会員がいる。
- ※今後出先支部開設の可能性としては、南九州支部の沖縄出先支部がある。特例出先支部として支部助成の対象とする。本部と支部長の出先支部総会への出席を実施する。以上2点が承認された。

第五号議案 創立50周年行事について。

審議事項

第一号議案 平成25年度決算書および監査報告について。

平成25年度決算書並びに財産目録について仲川会計長より説明があった。続いて染谷会計監査から「流通経済大学校友会会則第10条の規定により平成25年度流通経済大学校友会収支決算について諸帳簿を監査した結果決算書並びに財産目録のいずれも正当なものと同認します」と報告があり承認された。

ご意見、ご質問等

○普通預金の利息と利回りについての質問があった。

50周年記念行事を1年後に迎えるにあたり使い勝手からは普通預金の方

が良い。利回りを中心に考える必要はないが安全性とのバランスの中で考えて行きたい。

第二号議案 平成26年度校友会事業計画について。

○事務局より 2月22日の前年度第3回幹事会で承認された事業計画通り進めて行く。支出の中で一番大きい卒業生に贈呈しているカガミクリスタル製の置き時計については本日お見せする予定であったが土曜日で金庫が開けられないため次回とします。

○通信費削減に向け大きな効果が期待できる「メールによる会員への通知」だが千葉支部の支部総会案内をトライアル的に行った。次のような

大学の50周年記念行事が来年の2015年11月13日に帝国ホテルで開催されることは決定。その他についてはまだ発表されていない。

○学生の国際化教育のバックアップについて、会長、事務局から前回の幹事会でも決めたように、海外の提携大学から3週間程度学生を招き在校生または近隣の高校、中学とも交流を図るような機会を設ける。

この計画については学長の承認を得ており国際交流センターとより具体的な話をしたい。

○記念文集について

校友会発行の記念文集について、一番ベースになる50人くらいはこの幹事会のメンバーと幹事推薦の校友会員から原稿を集めたい。募集要項を確定し9月までに具現化する。

第六号議案 2014年校友会の現状について

昨年度の校友会幹事会で決定した項目なので資料として参照のこと。

その他

大学の現状 赤石部長から

50周年記念事業については前幹事会から大きく動いてはいない。

主な事業としては

- ・みらい基金の創設。
- ・新松戸キャンパスに新しい校舎を建築する。

・龍ヶ崎キャンパスの2号館3号館を取り壊し、新校舎を建築する。
大学の入試状況。2014年入学者は大変厳しい状況であったので、校友の皆さんからもいろいろな人に入學を進めていただきたい。
卒業生時の就職率について 仲川部長から流通経済大学卒業時の就職率は96.6%。昨年より1%上がっている。就職支援センターとして様々なバックアップを行っているが、校友会の皆さんの企業からも声を掛けてほしい。
ホームページについて 事務局から



今年の2月から月4回の更新を行っている。写真を多くして見に来てもらえる内容にするよう心掛けている。その影響かR KUメールアドレス取得希望者も10名となった。各支部長から地方ごとの季節便りを送っていただけるとページも充実するのでご協力お願いしたい。またフェイスブック等を利用し会話できる体制も検討したい。

その他の意見

○TOFU Lに対しての受験支援をもっと強化してもらいたい。

○英語圏中心でなく振興著しい東南アジアへの留学も考えてほしい。

○地方自治体と協力して他国の地域と交流を計れないか。(姉妹都市など活用)

○学園祭でゼミの研究発表などが低調。

(以前はもっと発表があった)食物の出店が多く縁日化している。校友会として研究発表に賞金を出しやる気を起こさせるようなことは出来ないか。賛同者多数⇒具現化する方向で検討。

平成25年度活動報告

- 5月18日 東京支部総会開催
- 5月11日 第1回幹事会開催
- 6月15日 千葉支部総会開催
- 7月7日 中国東支部総会開催
- 7月15日 中部支部総会開催
- 7月19日 みちのく・山形合同支部総会
- 7月20日 新潟支部総会開催
- 9月1日 茨城支部総会開催
- 9月14日 第2回幹事会開催
- 9月28日 秋田支部総会開催
- 10月5日 南九州支部総会開催
- 10月19日 8期同期会開催
- 10月19日 北海道支部総会開催
- 10月20日 栃木支部総会開催
- 11月3日 岩手支部総会開催
- 11月9日 近畿支部総会開催
- 11月9日 神奈川支部総会開催
- 11月9日 青森支部総会開催
- 11月9日 北九州支部総会開催
- 11月16日 四国支部総会開催
- 11月23日 50周年記念検討小委員会開催
- 12月7日 東北海道支部総会開催
- 12月7日 韓国支部総会開催

平成26年

- 2月8日 社会福祉会セミナー開催
- 2月8日 福島支部総会開催
- 2月22日 第3回幹事会開催
- 3月1日 観光クラブ総会開催
- 3月15日 北陸支部総会開催
- 3月15日 埼玉支部総会開催
- 3月20日 卒業式正副会長出席

平成25年度決算・26年度予算

項目 (単位千円)		25年度実績		26年度予算		
		内訳	計	内訳	計	
前年度繰越			207218			
収入の部	会費収入	12830				
	利息収入	-302				
	雑収入	49				
収入計			12577			
支出の部	運営活動費	行事費	2205		2268	
		会議費	4592		6552	
		広報費	2216		444	
		事務費	28		150	
		雑費	39		18	
		小計		9081		9432
	援助費	大学祭援助費	580			660
		諸行事援助費	205			1000
		備品援助	0			0
		小計		785		1660
支出計			9866		11092	
翌年度繰越			209929			

平成 26 年度

第 2 回

幹事会開催



平成 26 年度 第二回校友会幹事会 が開催されました。
9 月 6 日土曜日 15 時～ 新松戸キャンパス 502 教室において
佐藤会長以下 38 名出席で幹事会を開催しました。

校友会としての 50 周年事業や、学園祭のバックアップなど活
発な意見交換がありました。

【出席者】

佐藤会長、田中副会長、染谷会計監査、瀬川総務委員長、
広瀬財務委員長、羽田運営委員長、捧編集委員長兼新潟支部長、
尾形幹事、菊池幹事、仁平幹事、対木幹事、菅谷幹事
永井幹事、白鳥幹事、山本幹事、佐久間幹事、広瀬神奈川支部長
小原みちのく支部長、藤浴近畿支部長、亀田中国西支部長、
中尾中国東支部長、平田北九州支部長、林北海道支部長、
桜庭青森支部長、植木群馬支部長、我妻秋田支部長、溝上千葉支部長
青木南九州支部長、松永四国支部長、柴田福島支部長、
日野北陸支部長、石川顧問、渡邊顧問、齋藤オブザーバー、以上 38 名出席

審議事項

佐藤会長挨拶

前回 5 月の第一回幹事会から今回の
幹事会までの間に大雨を原因とした自然
災害が多く発生した。特に広島県の
土砂崩れは大変な災害となった、亀田
中国東支部長から校友会員に直接的な
被災者はいないと聞いている。

災害が発生した時のボランティアを
含めて日本人の助け合い精神が海外で
話題になる。大学でこのような精神や
実践で役に立つ技術を持つ人材を育成
していくことも大切。校友会としても
バックアップして行きたい。

第一号議案

平成 26 年度事業計画進行状況

- ・ 新松戸キャンパスの「青春祭」に
20 万の助成。
- ・ 茨城校友会杯オープン卓球大会を
主催。
- ・ 大阪での総理大臣杯大学サッカー
大会決勝を佐藤会長、藤浴支部長、観
戦。
- ・ 支部総会開催実績、案内発信実績、
について事務局より報告があった
。



第二号議案

大学創立50周年記念事業について

・ 赤石総務部長から大学サイドの50周年事業の進捗状況の報告があった。

龍ヶ崎キャンパス2号館の取り壊し、新校舎の建設。新松戸キャンパス馬橋寄りにアリーナを含む新校舎の建設。

50周年記念のロゴ入りボトルを配布。ロゴは「みち」と言う字を入れたデザインとなっている。

・ 校友会記念エッセイ集題名について

「つづくやかぎりなく」特に別の題名についての提案は無かった。2月まで待つて決定する。

・ 無料配布でよいか

事務局としては無料配布としたい。特に意義なし。

・ 配布先と製作部数について

700部で製作見積りを取ったが、あくまで単価を出すためのもの。配布対象者についてはまだ決定していない。

(案) 執筆者、寄付金賛同者、支部総会参加者、支部総会案内返信者、周辺の学校、図書館など。

校友会で在庫を持ち、希望者には配布する。→次回も検討する。

エッセイ集の電子版も作成した方がよい。ホームページに載せれば読むことができる。現物のほしい人には送る方法もある。

製作については工程表を作成すること。2月の幹事会で明らかにする。

・ 寄稿者について

原稿用紙3枚程度、ワード10.5文字で1ページ程度 現校友会幹事につい



ては全員寄稿していただきたい。2月幹事会に提出

内容については政治的な内容以外はフリーに書いて構わない。大学時代だけでなく社会にでてからの内容でも可。

校友会員で本学教員になられている古井先生や齊藤隆春先生にも寄稿をお願いしているが、特に推薦したい方は。1期生三島氏 剣道8段を取られた校友のお名前が出た。→次回も検討する。

第三号議案

サッカー部総理大臣杯優勝（2年連続制覇）について

学連加盟の全大学が予選から参加する総理大臣杯サッカー大会で2年連続優勝した。2年連続とすることで祝賀会を開催する場合は決定してから案内をする。

第四号議案

出先地域支部の規程変更について

北海道道東、道南の出先支部について規程を明確にした。

1. ①「出先支部総会開催に際して都度担当支部長より事務局を通して会長に上申し決済を受ける」

2. ②出先支部の定義「地域支部より鉄道等で300km以上離れ、校友会員が複数存在していること」

①、②の内容で承認された。

第五号議案

校友会員名簿の一元管理について

現在、支部総会開催時に各支部長に担当地域校友会員名簿を渡してい

るが、住所の変更や物故者の情報が支部長や支部役員までで止まってしまい校友会員名簿が更新されないことがある。特に物故者については苦情に発展した例があった。慎重かつ確実な対応をお願いしたい。

各支部長に徹底をお願いすることで議案は終了。

第六号議案

前回の幹事会意見から

・ 英語教育の強化について

ICP講座について 新松戸キャンパス4階カフェで英語コミュニケーション能力の向上を目的とした気軽に参加できる場を設置→黒田部長から説明あり。

・ 学園祭における研究発表の活性化策について

現状 新松戸は6月に「青春祭」を開催している。1年生については4月に入学して6月に研究発表は困難であり、芸人を招いてのイベントや食べ物の出店が多い。近隣住民もそれを楽しみにしている。

中心となるべき4年生は就活の最中で余裕がない。

龍ヶ崎の「つくばね祭」はスポーツ関連の発表は見られる。

-意見として-

難易度の高い資格習得者に報奨金を出す。→現実的 英検、司法書士など

研究発表だけでなく自主的にやっている社会貢献活動などにも目を向ける。

教授会などへの働きかけも大切。

お金を出すから充実した発表を求めるやり方は一方的過ぎないか。

※校友会長が学長にこの件について話をしてみる。大学としての考えを聞く。

その他

茨城校友会 山本幹事より茨城校友会杯オープン卓球大会についての報告があった。

支部総会の今後開催予定について確認した。

以上

校 友 の 広 場

神奈川支部総会

平成25年 11月9日 横浜市
横浜駅西口「加登屋茶屋」

【参加者】

廣瀬(1期)、軍司(1期)、道口(1期)、愛場(2期)、仲浜(2期)、広瀬(2期)、長田(3期)、小林(3期)、増澤(3期)、沓(4期)、中台(4期)、成瀬(5期)、叶野(10期)、森田(21期)、小平(26期)、渡邊(26期)、松浦(29期)、岡田(30期)、菅原(32期)、西尾(39期)、佐藤校友会長、齊藤事務局
支部総会 司会 愛場(2期)
来賓として森尾名誉教授にご挨拶をいただく予定であったが残念ですが風邪のため欠席となりました。

○廣瀬支部長挨拶

2年ぶりの神奈川支部総会の開催。1期から39期まで幅広い年代が集まった。活発な意見交換、懇親をお願いしたい。

○佐藤校友会長挨拶

母校流通経済大学も再来年の2015年に創立50年を迎える。校友会としても記念事業、記念行事を考えている。校友会の役割として「会員相互の親睦」「母校の発展に寄与する」2つのテーマがある。ぜひ支部総会の中でいろいろなお意見をを出していただきたい。

○役員の変更

支部長改選の時期となったが出席者より廣瀬支部長に再度お願いしたいとの意見があり再任が承認された。

○会計報告

小林会計担当より25年11月現在の会計報告、軍司会計監査より監査報告があり承

認された。

懇親会 司会 沓(4期)

支部長再任の挨拶のあと道口(1期)の発声で乾杯を行い懇親会となった。齊藤事務局の大学と校友会の現状の説明、各人の自己紹介で盛会の中 全員で校歌斉唱し広瀬校友会財務部長(1期)中締め挨拶で閉会となった。

※敬称略としました

群馬支部総会

4月19日～20日 老神温泉「東明館」

当日の欠席者もあり4人での総会となりましたが、宿泊して大いに飲み語り、翌日は地元の3期生金子さんに名瀑「吹割の滝」案内していただき充実した総会となりました。

参加 植木支部長(1期) 金子さん(3期) 祝さん(25期) 齊藤事務局(7期)



中国東支部総会

6月21日 16時～
鳥取ワシントンプラザホテル

【参加者】

1期中尾中国東支部長 1期左次副支部長 3期岩田監事 6期矢田会員 7期杉谷会員 20期尾崎会員 7期齊藤校友会事務局

【総会議事】

○組織状況について

平成21年以降6回の支部総会を開催。基本的には鳥取、島根、岡山の3件で持ち回りとした。岡山県支部が未組織であったが組織化した。来年は島根県で6月に開催の予定。その前に鳥根県で懇親会を開催したい意向である。

○支部会費について

中国東支部規約第7条に基づき年会費2000円を徴収している。支部総会の案内にご返信いただいた会員に幹事会、支部総会の報告を行う。会員各位のご理解とご支援をお願いしたい。

○役員人事

中尾支部長、左次副支部長について任期を1年延期(平成28年度まで)

○平成25年度の事業報告および収支報告、監査報告

平成26年度の事業計画及び予算書の説明があった。

○校友会事務局より

流通経済大学の現状と校友会の活動についての説明があった。

○懇親会 17時～

校友会中国東支部旗を背景に記念撮影を行い。左次副支部長の乾杯の音頭で宴席となった。活発な意見交換、参加者の自己紹介で盛会の中、岩田監事の挨拶で中締めとした



千葉支部総会

6月14日(土) 13時10分～
新松戸キャンパス502号教室

【来賓】

佐藤会長、黒田部長

【出席者】

菅谷清、羽田昇、小林卓生、長沼和夫、溝上一生、石山尚、太田喬久、桜井安男、外館哲夫、山田博章、林悦夫、田中博也、作道誠見、林義治、菊池和博、佐久間祥、小倉昭雄、仁平晴美、平井覺、宇野斉、椎名敏行、高木芳弘、松本宗、渡辺淳、奈良林勝久、松本一洋、渡辺公一、増田久美子、鹿野英里佳 31名

1期生から42期生まで幅広い世代の会となりました。

石山副支部長の司会進行で進められた。

○溝上支部長挨拶。去年、今年と千葉支部総会に30名を超える人が集まった。今後も出席者が増える努力を続けたい。千葉支部のゴルフコンペも定着した行事として行きたい。

○佐藤会長挨拶。大学創立50周年記念行事に対する校友会としてのサポート。校友会ホームページでの情報発信をさらに拡大していきたい。

○黒田部長より大学の現状についての報

告。50周年記念事業についての報告等

【審議事項】

・活動計画

今回の支部総会連絡の手段としてメールの活用を図ったが迷惑メール対策等のエラーが多数発生したことから今後はホームページおよび葉書を中心に連絡したい。

・25年度決算報告

小林監査担当より報告があり全会一致で承認された。

・役員を選出 千葉支部の役員体制は1期2期生が中心であるため、7期生の仁平氏を副支部長に推薦したい提案があり全会一致で承認された。今後2年間は7名体制で活動していく。

・その他

50周年記念事業の規模について。今後の大学教育の方向性について。

※総会終了後 青春祭を見学。そのあと新松戸ステーションホテルにおいて懇親会を開催した。会員からの近況報告、自己紹介 等があり楽しい時間を過ごせた。また当日行われていた8期生有志の同期会の皆様や東京、茨城の会員の参加もあり盛会のなか中締めとなりました。(仁平副支部長の報告から

みちのく 山形 合同支部総会

7月12日 17時～
仙台ガーデンパレス

【参加者】

1期 瀬川氏 3期 石田氏 4期 岩田氏 5期 渡邊氏 7期 小原支部長 12期 西方幹事 13期 佐藤幹事 15期 小野寺幹事 18期 蜂屋氏 27期 岡部氏 31期 菅原美穂さん 32期 猪俣氏 33期 竹下幹事 34期 関氏 35期 大田氏 4期 五十嵐山形支部長 22期 堀幹事 1期 我妻秋田支部長 2期 高橋若手支部長 15期 小宮氏 8期 柴田福島支部長 校友会本部から 1期 佐藤会長 10期 赤石部長

【総会議事】

1) 意見&要望事項

・ 山形支部との合同総会が今回で3回目、やはり隣県であるが山形からの出席者が少ない。今後の方針として山形支部単独開催を決めた。

・ 女性の会員の出席が少ないので、今後集まりやすくするために女子会の開催を菅原さんをお願いした。

・ 全体に案内状の返信無反応が多い事について今後の方法を考える。また、欠席で返事がきた会員の取り組みについても考える事としました。

・ 各支部長の挨拶

・ 校友会佐藤会長挨拶

・ 赤石部長 大学の現状と創立50周年記念行事等について

・ 西方幹事 会計報告

2) 懇親会

瀬川氏の音頭で乾杯

出席者の自己紹介、その後テーブルを移動しながら活発な意見交換で大いに盛り上がった。記念撮影をしてお開きとした。

(小原支部長の報告から



中国西支部総会

7月26日 (土) 18時30分～
ライオン広島駅ビル店

【参加者】

亀田中国西支部長(2期)松原氏(16期)西川氏(23期)宮氏(14期)赤石部長(10期)森氏(学生生活課)望月氏(就職支援センター)

波田教授(法学部)

広島市での流通経済大学父母会と同日であったため、波田教授や大学の職員にも参加していただきました。亀田支部長の挨拶、波田学生部長挨拶、赤石部長から大学の現状や創立50周年記念事業等の説明があり、その後お酒も入り意見交換や懐かしい話で盛り上がりました



秋田支部総会

9月27日 (土)
秋田第一会館

【参加者】

我妻実(1期、支部長)佐藤尚(1期、副支部長)松田満(3期)佐藤信治(4期)高橋満(4期)高橋義和(4期)藤原哲博(6期)一関勝彦(6期)村上淳(30期)三浦功達(36期)佐藤克實(1期、校友会長)小原文男(7期、みちのく支部長)

齊藤哲三郎(7期、校友会事務局)

【総会】

○我妻支部長開会の挨拶
、昨年より3名少ないが13名で開催できた。

母校も来年創立50年の節目を迎える、秋田支部としても記念行事を含めて協力して行きたい。

○佐藤校友会長

校友会も創立50周年に向けて母校へのいろいろな事業を考えている。英語教育に対する支援、記念エッセイ集の発行等校友会員大勢の参加で盛り上げたい。支部総会に参加すると各地でいろいろな業界で活躍するOB、OGに会うことができる、より若い方、女性の出席者を増やして情報交換の場として行きたい。

○小原みちのく支部長

7月12日に開催された「みちのく、山形

支部総会」の報告があった。

○我妻支部長より

支部の活動状況と会計報告があった。

○斉藤校友会事務局

ラグビー部、サッカー部、アジア大会での大学関係者の活躍、新松戸キャンパス、龍ヶ崎キャンパスの現在、50周年を迎える大学の校舎建て替えなどについて説明があった。

【懇親会】

佐藤副支部長の音頭で乾杯。

各自の近況報告、大学時代の思い出で

盛り上がり、席を移動しながら和やかな懇親会となった。

【2次会】

どぶろく屋(佐賀江前支部長の奥様が女将の店)で地酒と秋田料理を満喫し時間を忘れて「流大話」が続き再開を約束してお開きとした。



福島支部総会

10月4日 16時から
会津若松市 東山パークホテル新風月

【出席者】(敬称略)

柴田(8期支部長)穂積(5期)新井(8期)石山(32期)猪俣(32期)石井(32期)須佐(33期)齊藤(7期事務局)

【支部総会】

柴田支部長の挨拶
今年2月に第一回福島支部総会を開催、今回は宿泊で企画したが前回より出席者が減ってしまった。校友会員が700名を超える支部として会員の親睦と母校の発展に寄与できるよう継続開催



して行きたい。

校友会齊藤事務局から大学の今日と校友会の現状について説明。

出席者各自の大学時代の思い出を含め自己紹介。

新井さん(8期、元小学校校長)から「アメリカインディアンの言葉」としてインディアンがどのような考え方で子育てをしていたか等、大変興味深いお話があった。

【懇親会】

穂積さんの音頭で乾杯し、出席者が5期7期8期32期33期、流经大卒業生として世代を超えて盛り上がり、楽しい懇親会となった。

北海道支部総会

9月20日 札幌東急イン

【出席者(敬称略)】

稲田靖直(1期生)佐藤克實(1期生、校友会長)長内康(4期生)井関義和(5期生)太田隆明(6期生)林康夫(7期生、北海道支部長)島不二彦(7期生)守谷梯(7期生)久保裕史(9期生)

【総会、懇親会】

校友会佐藤会長から、創立50周年を迎える母校の今日や校友会活動についてのお話があり、校友会としての記念事業、各自の思い出を語り楽しいひとときを過ごした



南九州支部総会

10月18日 熊本県
「湯の児 海と夕やけ」

南九州支部総会 佐藤校友会長をお迎えしてオーシャンビューと美味しい料理を堪能しました。

昼の写真 後列左から 緒方哲郎(3期)隈元裕司(4期)青木禎一郎(2期)佐藤会長(1期)松村篤彦(10期)井島功一(4期)齊藤有史(35期)中腰の方が 松葉輝幸(4期)前列左から 棟久真次(4期)松元洋一(1期)井上博(4期)敬称略
来年は宮崎で開催予定です。



9期同期会総会

10月18日 龍ヶ崎キャンパス

【出席者】（敬称略）

秋谷隆和、磯崎眞一、生沼弘昌、小倉久緒、神山好喜、久保裕史、斎藤恵二、佐藤正、鈴木功朗、鈴木一史、武田昇、千葉雅司、鶴間武、鳥谷部秀喜、永井輝雄、中田喜美、西野光則、細田邦彦、堀井敏光、山野保、井上淳（10期）、赤石守（10期大学総務）齊藤哲三郎（7期事務局）長友真美（事務局）

○同期会総会 13時～

来賓の小池田学長より挨拶をいただき、乙女の泉前で記念撮影。

大学総務の赤石部長から、大学の現在と来年の50周年記念事業について説明がありました。

○キャンパス内見学 13時50分～

露月池～サッカー場～自彊館前～解体中の2号館～3号館～ラグビー場～スポーツ健康センター～澤村記念館

卒業以来37年ぶりにキャンパスを訪れた方も多く、旧学生寮のあった自彊館前を懐かしそうに見たり、スポーツ健康センターの最新の設備に感心したりと好天にも恵まれて楽しい見学が出来ました。

○懇親会 14時50分～

澤村記念館1階の学食で懇親会を行い、自己紹介、大学時代の思い出と時間を忘れて歓談となりました。

○2次会

学生時代にも大変お世話になった、「ますや食堂」が経営する「居酒屋ますや」で大盛り上がりの2次会となった

四国支部総会

10月18日（土）16:00～19:00

香川県綾歌郡宇多津町
ホテルサンルート瀬戸大橋 2F

【参加者】（敬称略）

松永 敏男（支部長 2期 香川）、濱田 春夫（2期 徳島）、河上潤一郎（4期 愛媛）、好多 義和（5期 香川）、加藤 邦彦（6期 高知）、西山 正美（7期 香川）、玉置 弘之（7期 香川）、氏家 徹志（9期 香川）、谷井 宣夫（9期 愛媛）、黒田 義一（事務局 8期）（計10名）

【議題】

1. 支部長挨拶

松永四国支部長の開会の挨拶のもと、開始された。

2. 大学および校友会の現状

松永支部長の指名により校友会事務局の黒田から、来年の本学創立50周年記念事業並びにそれに関する大学および校友会の現況等について報告した。

3. 平成25年度収支決算について

松永支部長より、平成25年度収支決算および監査報告があり、出席者会員の賛同を得て承認された。

また、支部長から、規程の改正により、総会開催に伴う校友会本部からの補助が出席者1名あたり2,000円となったこと、創立50周年記念事業のエッセイ集発行に伴う寄稿者の推薦について説明があった。

4. 支部活性化について

続いて支部長から、四国支部の会員数は、現在、香川県93名、徳島県38名、高知県54名、愛媛県37名の合計222名と

なっており、今回の総会案内に対する返信がそれぞれ26名、11名、11名、12名の合計60名であった。

校友会支部の中でも27.0%という一番の高返信率であることから、会員の支部総会に係る関心が高いものと思料される。

従って、支部総会の開催地や開催時間の変更も視野に入れて検討してはどうかとの提案があった。

会員数の少ない地域支部では、持ち回りで総会を開催している事例もあり、来年度総会は、高知県での開催が可能かどうか、関係者間で調整することとなった。

5. その他

写真撮影の後、隣室へ席を移して、事務局の黒田の乾杯により懇親会が開始された。

懇親会では、学生時代の思い出や近況報告に話が進むとともに、本日の参加者が全員60歳以上であったことも影響したものと思われるが、健康や年金等の生活に関連した話題も上がった。

（文責：黒田）



近畿支部総会

11月15日（土）16：00～19：00 大阪市北区
大阪弥生会館 3F

【参加者】

藤裕 正人（支部長 1期 大阪）、浅田 新治（1期 兵庫） 小川 諄（1期 兵庫）、佐澤 徹（1期 兵庫）
澤田 成彦（1期 大阪）、鷺尾 彰一（1期 滋賀）、神田 俊之（2期 兵庫）、久保 正嗣（2期 大阪）、森田 好昭（2期 大阪）、皿谷 善一（3期 大阪）、村田 卓真（3期 兵庫）、福島 勝治（4期 滋賀）、黒葛原 博（5期 兵庫）、溝手 至（7期 大阪）、藤岡 隆（19期 兵庫）、春名 匡（25期 兵庫）、石津 弘徹（30期 大阪）、久下 淳（30期 大阪）
關 修人（37期 大阪）、黒田 義一（事務局 8期）（計20名）

【議題】

1. 支部長挨拶

藤裕近畿支部長より、開会の挨拶があり、議事に入った。

2. 大学および校友会の現状

藤裕支部長の指名により校友会事務局の黒田から、来年の本学創立50周年記念事業並びにそれに関する大学および校友会の現況等について説明し、今季のサッカー部の総理大臣杯2連覇を含めたスポーツ分野の活動状況等について報告した。

3. 自己紹介

続いて、着席順に大学時代の思い出や近況を含めて自己紹介を行った。

1期生を始めとして毎年参加している会員が多いことから、自己紹介も話題を変えてお話しされる方もあり、十分に楽しめるものとなった。

4. 創立50周年について

藤裕支部長より、創立50周年記念事業についての校友会幹事会での取り組み状況を報告し、併せて、エッセイ集の発行に伴う寄稿者の推薦について説明があった。

5. その他

続いて支部長から、近畿支部の会員数は、現在、大阪98名、兵庫92名、和歌山41名、市が29名、京都22名、奈良10名の292名となっている。

地域によっては地理的な問題もあって参加できないケースもあるので、和歌山県については、出先支部として進めていきたいと説明した。

また、支部長の後任人事についても触れられ、今後、早い段階で若い世代に移していきたいと、私見を述べられた。

支部総会について、従来のやり方にとられず、開催地の変更、宿泊やイベントの実施等も含めてはどうかとの提案があった。

会員数の少ない地域支部では、持ち回りで総会を開催している事例もあり、今後、会員のご意見を伺いながら調整していくこととなった。

続いて、隣室へ席を移し、写真撮影の後、佐澤氏の乾杯により懇親会が開始された。

懇親会では、学生時代の思い出や近況報告に花を咲かせるとともに、お互いの親睦を深め、盛会のうちに終了した。

終了後、藤裕支部長のご配慮により、北新地において二次会が設定され、カラオケで大いに盛り上がったことは言うまでもないが、例年のように、三次会へ繰り出すほどの熱気とバイタリティに溢れた1日であった。）

（文責：黒田

青森支部総会

11月15日（土）午後5時30分～ 青森市
「鮎処あすか新町店」

小雪が舞う青森市内で青森支部総会が開催されました。

田中校友会副会長から、来年の大学創立50周年記念事業などを含め挨拶をいただき、齊藤事務局長からは、校友会活動の現状と母校の今日についての話がありました。そのあと桜庭支部長の音頭で乾杯し懇親会となりました。

龍ヶ崎にあったセントラル映画館や、ますや食堂のまぐろカツの思い出話で盛り上がりました。

【参加者】

桜庭均支部長（4期） 瀬川博章（7期）
正田明（8期）
土田祐太郎（11期） 貝原広保（17期）
田中博也副会長（4期）
齊藤哲三郎事務局（7期）



北九州支部総会

11月8日 18:30～ 福岡市 博多区
ホテルクリオコート博多2階 (円座長屋)

参加者 平田久朝 (1期) 三嶋隆夫 (1期) 杉春暢 (2期) 村井正寛 (2期) 高木博具 (4期) 畑辺一夫 (4期) 有川俊一 (5期) 佐々木慶嗣 (5期) 長澤秀人 (5期) 中村邦夫 (6期) 佐々木茂 (6期) 今村秀仁 (10期) 樺山敦志 (9期) 吉田修策 (10期) 田澤雅博 (13期) 有川由男 (13期) 末祐一郎 (14期) 宇田川剛 (30期)
校友会副会長 田中博也 (4期)
事務局 総務部長 赤石守 (10期)
計 20名

議題

畑辺氏の司会により、下記の通り進
行した。

1) 支部長挨拶

5年前にわずか6名で発足し毎年開催されるようになり、今回も又、初参加が杉 長澤 有川 (由) 佐々木 (茂) 氏の4名あり嬉しいかぎりです。今回は216名に案内し返信56名、返信率26%でした。

今後の支部活動の中で不安材料は20期以降の参加者が少ないことと、佐賀長崎県からの参加が一度もないことです。支部活性化の為に、これからの課題を克服することが最も大切な事と思っていますので皆様方のより一層のご協力をお願いいたします。

2) 田中副会長より

校友会の活動方針並びに来年の創立50周年に向けてのそれぞれの各行事等について説明あり。

最近の入学者は関東中心で九州からの入学は減少傾向にある。このままの状態が続けば将来はこの支部の存続が危ぶまれるので各人の校友関係の中、大学のPR活動に協力願いたい旨の挨拶。

3) 赤石総務部長より

大学の現状とスポーツクラブの活動状況、学生数の確保等を説明。

4) 支部名称について

三嶋氏より支部の名称について「北九州支部」との名称は北九州在住が中心のように受け取られかねないので別の名称 (仮: 北部九州支部) に変更したらどうかとの意見が出された。本部に報告の上、名称変更を検討する。

5) 自己紹介、近況報告

6) 支部活性化について

杉氏より支部活動を盛り上げる為にも今以上に親交を深め、未だ参加していない卒業生に対しても呼びかけを徹底するよう熱い言葉をいただく。

7) 50周年記念行事について

校友会記念エッセイ集の寄稿者として三嶋氏を推薦する。

8) その他

校友会旗をバックに記念撮影し、来年の再会を誓い閉会。

以上

北海道道東支部総会

11月22日 18時～ 釧路市
三ツ輪ビル地下1階へ「醍醐

【出席者】 (敬称略)

伊関義和支部長 (5期) 辻信之 (6期)
関本雅博 (11期) 金子英雄 (12期)
山本浩晶 (24期) 林康夫北海道支部長 (7期)
齊藤哲三郎事務局 (7期)

伊関支部長のメールから

おかげさまで例年通り、無事に楽しく開催する事ができました。

林北海道支部長、

2次会からの参加者も含め、6名の参加となりました。

懐かしい竜ヶ崎の話に暫し学生時代に
戻り、和気藹藹と過ごす事ができました。
釧路は道東の中間地点にあるのですが、
帯広、根室からも120km程有り車で
1時間半程かかります。帯広の方から、
帯広開催の声も来ており、今後の検討課
題になっています。

はがき、電話で32名中15名から返
信が来ており、他の地区より回答率が高
いとお聞きしてホッしています。

大学、校友会の益々のご発展を祈念し
て、取り急ぎお礼申し上げます。

※22日は11月下旬の釧路にしては暖
かい日だったようです。道東支部の皆
さんと流大、龍ヶ崎の話題で盛り上がり、
気持ちもぼかぼかの支部総会でした。武
者さん、久保さん、今回出席できなかつ
た皆さん、来年はぜひお会いしましょう。

齊藤事務局



北陸支部総会

11月22日(土) PM6:30～ 富山市
富山第一ホテル 中華料理店 白楽天

懸案でありました北陸支部総会を2013年度として3月15日に開催しましたので、今年2回目となります。

二回目であるために遠方からの参加者、新たな参加者を期待する気持ちと、紅葉の季節でもありますので連休での予定を早々に計画されているかもしれないとの不安もありました。

案内状の返信は63名(28%)、その内参加者は12名(19%)でありました。前回に比べますと8名の減でしたが新たに2名の参加がありました。

総会には、本部の田中 博也副会長が参加されるため13名での支部総会となります。

しかし、残念なことに前日までに2名の欠席連絡、当日開催時間直前での1名欠席の連絡を受け10名での総会となりました。

総会議事は、谷口 豊(19期)さんの進行にて開催いたしました。

1、支部長 日野 壯太(6期)挨拶

主旨：今年度第1回幹事会(5月10日新松戸校舎)にて支部長として承認された事が報告されました。

・ 支部の近況として会員は北陸3県で220名、富山70%、石川25%、福井5%の割合である。案内状の返信には、遠方なので残念ながら参加できせんとコメントもあった。これは、その他の広域支部共通の問題でもあり皆さんで活性化案を出して欲しいとの要望があった。

・ 佐伯 弘治先生の招待の検討に関して来年、北陸新幹線の開通もあり、先生を校友会北陸支部として招待したいとの案が提示された。(佐伯先生：富山出身)高齢のため、体調に不安を抱えておられる為、お話があっても遠出はされていないとの近況は伝え聞いている。遠出が無理の場合は、有志を募って東京でお会いする事も視野に入れて推進したいとの説明があり、参加者の賛同を得た。

(支部の要望を、校友会・事務局に対して調整を依頼し思いを伝える。)

2、校友会副会長 田中 博也(4期)挨拶

大学の校友会の現状及び2015年の50周年記念に関しての報告をお願いした。

主旨：校友会は、会員相互の親睦も重要であるが、各地域支部において大学の発展のためには何が出来るかを考えて欲しいとの要望があった。

入学の定員充足率、就職率も高く維持していたが、この点についても今後OB、OGの協力が必要になる。

尚、部活動ではサッカー部が総理大臣杯サッカーにて2連覇、ラグビー部の健闘及び付属柏高校サッカー部の全国高校サッカー選手権大会出場が報告された。

大学創立50周年記念事業に対して、校友会として会員からのエッセイを集め編集制作することが説明された。

3、乾杯

山岡 和男(1期)さんにより、大学・校友会の発展と参加者の健康を祈願しての発声により乾杯をした。

4、自己紹介と近況報告、支部の活性化に関して

美味しい中華料理を楽しみながら全員が、自己紹介をしながら近況と課題を語り合った。

・ 支部活性化に向けて

各地区での持ち回りでの開催の検討
従来の参加者には、居住地区以外の開催でも継続参加を要望
温泉地など1泊での開催検討
基本は、知人への誘いを継続的に推進する。

宴会では、つくばね祭、部活動での思い出、最近のスポーツ界の選手・指導者・親へ向けての課題から、友の消息、仕事内容に関してなどの話題で花が咲いていた。

また、政治の世界でも地方の創生が話題になっているが、富山の五箇山等世界遺産の指定をうけてもその周辺地域の過疎化は止まらず深刻化しており、「活性化への良い案」をテーマに、いろいろな提案があり盛り上がった。

最期に、大きな声で校歌を斉唱して締めとしました。

その後二次会には、石川県加賀温泉在住の山(16期)さんは遠方のため帰宅されましたが残り全員が参加し愉快的な時間を過ごしました



前列左より

伊東幸一(4期 富山・南砺市)、田中博也 副会長(4期 千葉・船橋市)

日野壯太(6期 富山)、山岡和男(1期 富山・上市町) 田中良範(4期 石川・金沢市)

後列左より

岩田史見(37期 富山)、小泉恒(19期 富山・南砺市) 岩木茂(18期 富山)

山 浩之(16期 石川・加賀市)、谷口豊(19期 富山)

校 友 の 校 広 場

岩手支部総会

11月22日(土) 18:00~20:00 盛岡市
ホテルメトロポリタン盛岡

● 参加者

高橋憲一(支部長2期) 佐々木健司(4期)
荒澤成彦(17期)、黒川明朗(25期) 掛
川潤一郎(26期) 安達勝名(27期)、嶽間
沢繁(29期) 中村恭子(35期) 宮本敏郎
(事務局14期)

● 内容

(1) 支部長挨拶

支部長高橋氏より、開会の挨拶に続き岩
手支部の現状と予算・決算の報告があっ
た。

(2) 大学の近況報告

事務局の宮本氏より、大学と校友会の近
況、入試・就職の報告があった。

(3) 自己紹介

それぞれの大学時代と今の近況報告があっ
た。

(4) その他

来年度以降は、毎年11月の第2土曜日16
時から「ホテルメトロポリタン盛岡」で
開催することが決定した。開催時期を定
着することによって、次回からは開催通
知だけでなく、皆が協力し早くからでき
る限り電話等で連絡し参加者を増やす努
力をするようになった。

引き続き懇親会に入り、初めて出席され
た方もおり今思えば便利とは言えなかつ
た龍ヶ崎市内での生活や大学時代の思い
出話で盛会に終了した。 以上



北海道道南支部総会

10月4日 函館市
ホテル法華クラブ函館

【出席者(敬称略)】

稲田靖直(1期生) 林康夫(7期生、
北海道支部長) 川原一泰(13期生)
佐久間行雄(23期生、校友会幹事)

【総会、懇親会】

これまでも道南地域に住んでいる校友
で定期的に集まっていました。今回か
ら校友会出先支部として開催すること
となりました。佐久間幹事から最近の
大学の状況と、創立50周年に向けて
の取り組みなど話をしていただき、そ
のあと世代の違う同窓生で懇親を深め
ました。

道南支部の開設に際して、3期生平山
様より過分なお祝い金を頂戴しました。
ありがとうございました。道南支部の
これからの開催と、母校の発展に寄与
する費用として使わせていただきます。

できないかということである。しかも
事業予算のなかで通信費の負担感
が増してきている。この辺に解決策
を見いだせないかということでもあ
る。結果はなかなか難しいというこ
とだった。(詳細は幹事会議事録参
照)しかし、諦めてはならない。一
朝で答えがでるといふものもある
まい。現在の葉書案内の個別有効性
の見直しや手段選択の絞り込み、そ
れを可能にする会員情報の管理方法
改善など幅広い取り組みが必要であ
る。今回の課題を糧に中、長期的に
取り組まねばなるまい。

s 生記

編 集 後 記

本年の校友会の活動の中心はやはり創
立50周年記念事業関係への取り組みで
あろう。メインイベントが来年となる年
に当たり事業内容もほぼ固まりつつある。

主に現役学生への各種活動支援が予算
的にも中心となるようだ。当初考えられ
る事業として列挙された記念碑などのハ
ードでなくソフト面、それも現役学生の
活動支援に傾注されたのは一つの見識
であろう。それが一面OBの現状への危
機感を反映していることを思うと複雑
である。

もう一点、注目すべき取り組みがあっ
た。千葉支部総会開催案内の通信手続
の試行である。従来主に葉書でやりと
りしてきた。電子通信関係が普及して
いる、校友会も取り組んでいる。そ
ちらを利用